



# 千里もぐら新聞

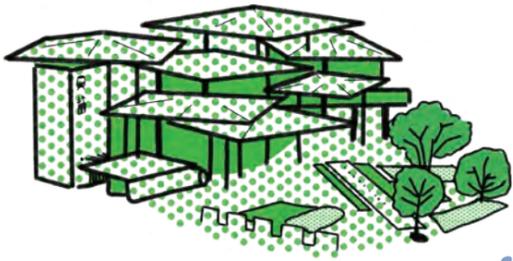
8号  
2026年  
3月

千里ニュータウン Senri New Town

大阪の北部、吹田市・豊中市にまたがる千里丘陵を開発し造成された日本初の大規模なニュータウン。12の住区に分かれ、各住区ごとに小学校、近隣センター公園、医療施設などが計画的に配置されている。類のない大規模な街づくりだったため、国内外の英知が集められ、街がつくられた。

約60年前に大阪に誕生した日本初の大規模ニュータウン。  
当時まちづくりの実験の場であった千里をフィールドに、新しい共同体におこった出来事についてです。

## 千里もぐら新聞



● 現存する池 (新たに造成された池も含む)

● ニュータウンができる前にあった池

※不明なもの・省略しているもの多数 正確なものではありません  
昔と今、池の名称の違いも掲載していますが、名称も様々あったようです

4

至箕面菅野

至大阪急行

至大阪空港

至門真市

至梅田

至河内池

至新池

至三倉池

至竹見台

至高野台

至佐竹台

至河内池

至河内池

次号につづく...

### PLAY BACK! ⑥ 千里年表

1600'S

- 1626年 山田村の人たちが千里山南尾にて新田開発を行う
- 1633年 上新田村、下新田村に新田村を分割
- 1693年 山田郷五ヶ村にて新池完成

1800'S

- 1860年 山田上村、山田下村に寺子屋が開かれる
- 1873年 山田尋常小学校開講
- 1917年 筍を主とした青果市場ができる
- 1922年 山田村で小作争議が起こる
- 1934年 小作人350人が農民組合を結成
- 山田上に大阪市弘済会病院が建設される

1900'S

- 1950年 山田村農業共同組合に筍工場を建設
- 1955年10月 山田村と吹田市の合併成立



山田村  
この辺りは山あいの田が多く「月夜にやける」と云われたほど水不足の土地でした。私の小さい頃(大正十二年)雨乞いを二回ほど見ました。——毎日二十人ほどの男たちが交代で(当番制)そこに、雨が降るまで続けました。

牛ヶ首池  
明治始め、牛の病気がはやりました。死んだ牛をうめた池なので牛ヶ首と呼ばれるようになったとか。

かすが池  
この池は上池と下池に別れており大地が干ばつた時、上池の樋をぬきました。上池と下池の間に道があり、リヤカーが通れるくらいの道幅でした。

菩提池  
菩提をとむらうお堂があったので、ぼだいと小字がつき、そのそばの池なので菩提池というようになった。

昔は坊大池(ぼうだい)といけと呼んでいたと聞いています。



調査員  
井藤里香 角谷穂乃香  
うー 辰巳雄基  
大西達也 内藤麻子  
内田好美 中川なつみ  
kazumi 仲平郁代  
川瀬豆 中村幸子  
空閑綾香 西野侑子  
空閑悠姫 長谷川かおり  
楠田恭子 福田美樹  
楠田雅紀 山城大督  
齋木健司 山中康子  
ユウカリ

題字 長谷若菜  
テンプレートデザイン 仲村健太郎  
街のイラスト 中川なつみ  
似顔絵 似顔絵  
調査団：楠田恭子 / 話者：うー  
版画 内田好美 漫画 大西達也  
発行 発行  
(一財)千里パブリックデザイン  
千里市民フォーラム  
後援 後援  
吹田市・豊中市千里ニュータウン連絡会議

前住んでいた神奈川県にある港北ニュータウンってところでいろんな人と出会って地域活動していたので、もぐら調査団に入って活動して、地域のことを知るうちに自分が今までやってきたこととリンクしたり、やっぱり私、地域好きな人かな。と思うようになりました。その街にはその街で面白い人たちがいて、関西ならではの、千里ニュータウンも人情味のある温かくて面白い人がいっぱいいるねんな。ということが、お話をしたり、聞かせていただく中で知れるっていうのが面白みだと思っています。気軽なスタンスで関われるっていうのがいいですね。

調査員：井藤さんからの一言



